

韮崎市立北西小学校・・・7月17日（水）訪問

訪問者：萩原 佳子

韮崎北西小学校は創立47年、旧神山・清哲・円野小学校の3校が統合され、昭和53年に開校した全校児童数112人(学級数8)の学校です。「たくましく がんばる子」を教育目標とし、一人ひとりの子どもを大切にし、「笑顔あふれる学校～子どもたちの可能性を最大限に引き出し、幸せを願う」の実現のために教師・保護者・地域が一丸となって取り組んでいます。また、卒業生に、パリ2024オリンピック、レスリング種目出場の文田健一郎選手、旧神山小学校は、ノーベル医学生理学賞を受賞した大村智先生の母校でもあり、山梨県を代表する素晴らしい人材を育成された伝統ある学校です。

今回は、山梨県小学校教員養成特別教育プログラムの幡野心優さんが、2校時(9:25～)に行われる「2年生書写」の授業に教育ボランティアとして活動しているところを訪問しました。担任の曾雌先生、学習支援員の阿部先生の指示のもと、児童と同じ高さの目線に立ちながら、個々の児童のペースにあわせて丁寧にサポートをしている様子が印象的でした。また、児童・クラス・学校にとっても温かく、頼もしい存在として受け入れられている様子が伺えました。

当日はお忙しいところをご対応くださった校長の横内理香先生・教頭の佐野一記先生に心より感謝申し上げます。



学習支援をする幡野さんの様子



2年生の児童より

とってもやさしくて、
そとでいっしょにあそ
んでくれるところが大
すきです。 Sくん

【教育ボランティア学生インタビュー】

「教育ボランティアを経験してよかったと思うこと」

○初日から、わざわざ教室に遊びに誘いに来てくれる子がいたり、外で遊んでいると学年関係なく「私も・僕も入れて」と言って、気付いたらすごい人数で遊んでいたりと子どもたちと直接関われる経験が私にとっては貴重で、とても楽しい時間です。「毎回、とにかく楽しい」という思いでいっぱいです。

「教職を目指す気持ちの変化」

○私は2年生になるときに「本当に自分は将来教師になるのか」という疑問を持つようになっていました。しかし、北西小学校で活動する中で先生方からたくさん感謝の言葉を頂いたり、子どもたちが授業中に「みゆ先生、教えてください」と頼ってくれたりやりがいを感じる場面が多く、北西小学校にいく度に「やっぱり教師になりたい」と思いました。そして、子どもが嬉しかった・楽しかった・悲しかった・悩んでいることなど、何でも話したいと思えるような教師になりたいと思います。

「教育ボランティアをはじめようと考えている学生へアドバイス」

○私自身、教職を目指す人のみが「学生ボランティア活動」をするのかと思っていましたが、そんなことは考えずに、まずは“やってみてください”“体験してみてください”きっと「楽しい」はずです。

【横内 理香校長先生のお話】

北西小学校では、開校して初めての「教育ボランティア」学生が本校に来てくれるということで心から「ありがとうございます」と感謝の気持ちです。学校現場のありのままの姿、現実的な対応などを間近で見て学ぶことのできる貴重な機会であり、自ら子どもたちに言葉をかけ教えることで「できた！わかった！」という経験を子どもたちと共感し積み重ねながら教師への道に繋がることを期待し、教師という職業に魅力を感じほしい。学校側がサポートしてもらおうと同時に、若い感性で子どもたちと関わっている様子は、校内の活性化にもつながり子どもたちの教職員も毎週幡野さんに会えることを楽しみにしています。今後も様々な教育活動を体験し、楽しみながら子どもたちを支援してほしいと思います。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている北西小学校の先生方に感謝いたします。

